

発生日	2011/12/21
発生場所	神奈川県内
一般名称	エスカレーター
事故の概要	被害者が左手でハンドレールをつかんでエスカレーターを利用中に、左手の指がハンドレールと壁の間のデッキボードに置かれた空き瓶との間に挟まれた。(重傷(左手中指末節骨切断及び薬指末節骨開放))
調査の状況	<p>○昇降機等事故調査部会において調査を実施、部会委員による現地調査の他、国土交通省によるヒアリング調査を実施。</p> <p>○事故当時の状況 防犯カメラの映像より確認された内容は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故が発生する前に、被害者とは別のエスカレーター利用者が、空き瓶が入ったビニール袋をハンドレールと壁の間のデッキボードの上に置いた。 ・約2分後に、被害者がエスカレーターに乗り込み左手でハンドレールをつかんだ。 ・空き瓶が入ったビニール袋が置かれた場所付近で被害者の左手に異常が生じた。 <p>○エスカレーターに関する情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 道路に面した地上階から2階の改札階へ向かう上りエスカレーター。 2) ハンドレールはゴム製であり、鋼板製のガイドレールの上を滑りながら移動している。ガイドレールにはハンドレールの滑りをよくするために、ハンドレールの内部と接触する箇所にナイロン製のカバー(以下「クリップガイド」という。)が取り付けられている。 3) 特定行政庁によると、事故後の調査においてハンドレールに異常はなかった。クリップガイドには被害者が手を挟まれた箇所に7.5cm程度のこすれたような痕跡が確認された。 4) クリップガイドに確認された痕跡は、指もしくは空き瓶が挟まれた際にハンドレールがクリップガイドを圧迫したことにより生じたと推定される。 <p>○エスカレーターの構造等に異常は認められず、本事故は被害者がハンドレールをつかんでエスカレーターを利用中に、ハンドレールと壁の間のデッキボードに放置された空き瓶とハンドレールとの間に指を挟まれたことによるものと考えられる。</p>
	調査終了